

## V 北海道水産業・漁村振興推進計画の目標と現状等

### (北海道水産業・漁村振興推進計画の目標と現状等)

気候変動や海洋環境の変化をはじめとした地球規模での環境変化を背景に、秋サケの来遊不振、サンマやスルメイカ資源の減少と分布の遠方化、赤潮の発生などによる漁業生産の減少、ブリやマイワシなど増加傾向にある資源利用による漁業生産の増加、漁業就業者の減少や漁船の老朽化に伴う生産力の低下などにより、近年の漁業生産量は変動が大きいものの、すう勢としての令和14年の予測値は100万トン程度と考えられます。

このため、北海道水産業・漁村振興推進計画（第5期）では、漁業生産量の回復に加え、資源管理や栽培漁業の取組強化、漁業経営体の育成や就業者の確保などの施策を総合的かつ計画的に進め、令和14年の漁業生産目標を150万トンに設定しています。

令和4年の漁業生産は121万トンと令和2年と同程度になっています（表Ⅱ-5-1～表Ⅱ-5-5）。

表Ⅱ-5-1 漁業生産量の目標と現状

(万トン)

区分		平成30年	令和2年	令和4年	令和14年		備考
					すう勢	目標	
海面漁業 ・ 養殖業	魚類	55	66	66	55	87	サケ、スケトウダラ等
	水産動物	6	4	4	5	7	ミズダコ、スルメイカ等
	貝類	40	44	45	35	48	ホタテガイ、ホッキガイ等
	海藻類	7	7	6	4	7	マコンブ、ナガコンブ等
	計	108	121	120	99	149	
内水面		1	1	1	1	1	
総計		109	121	121	100	150	

資料：北海道水産林務部「北海道水産現勢」、農林水産省北海道農政事務所「北海道農林水産統計年報」

注：海藻類、ウニ（水産動物）、カキ（貝類）は生体重量に換算

表Ⅱ-5-2 魚種別生産量の目標と現状

(万トン（ヒラメ以下は百トン）)

魚種	平成30年	令和2年	令和4年	令和14年	
				すう勢	目標
スケトウダラ	12	15	14	9	16
マガレイ・ソウハチ	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0
ホッケ	3	4	3	2	8
サケ（秋サケ）	6	5	8	4	15
ホタテガイ	39	42	44	35	47
コンブ（生体重量）	7	7	6	4	7
ヒラメ	8.4	8.8	8.5	7.2	8.8
マツカワ	1.7	1.2	1.6	1.6	1.9
ニシン（日本海海域）	29	45	68	45	53
ウニ（殻付き）	43	39	36	24	39
ナマコ	20	18	17	12	22

資料：北海道水産林務部「北海道水産現勢」

注：コンブ、ウニは生体重量に換算

表Ⅱ－５－３ 漁業生産額（漁業就業者一人当たり生産額）  
（万円）

区分	平成30年	令和2年	令和4年	令和14年	
				すう勢	目標
漁業生産額	1,122	866	1,479	1,190	1,370

資料：北海道水産林務部「北海道水産現勢」、農林水産省「漁業構造動態調査」、「漁業センサス」

表Ⅱ－５－４ 漁業就業者数

区分	単位	平成30年	令和2年	令和4年	令和14年	
					すう勢	目標
経営体	千経営体	11.1	10.2	9.3	6.4	7.4
就業者数	千人	24.4	23.4	21.5	16.1	22.7
（新規就業者数）	人	（205）	（156）	（128）	（120）	（180）

資料：農林水産省「漁業センサス」、農林水産省北海道農政事務所「北海道農林水産統計年報」、水産林務部調べ

表Ⅱ－５－５ 漁業生産額

（億円）

区分		平成30年	令和2年	令和4年	令和14年	
					すう勢	目標
漁業生産額	海面	2,735	2,027	3,182	1,910	3,110
	内水面	23	12	9	11	12
	計	2,758	2,039	3,191	1,921	3,122

資料：北海道水産林務部「北海道水産現勢」、道総研さけます・内水面水産試験場調べ